

感染症の出席停止期間の基準

	疾患名	潜伏期間	感染可能期間	主要症状	出席停止期間の基準	登園許可書	備考
第1種	エボラ出血熱、クリミアコンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱、急性灰白髄炎、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群（SARS コロナウイルスによるものに限る）、鳥インフルエンザ（H5N1に限る）				感染源となりうる間は原則入院、治癒するまでは出席停止	要	
第2種	新型コロナウイルス感染症	7～10日	発症2日前～7-10日間（平均5日）	発熱、全身倦怠、関節痛、筋肉痛、咽頭痛、咳、鼻汁	発症後（症状が出て）5日、かつ解熱後3日を経過するまで	要	
	インフルエンザ	1～2日	発症後約3日は感染力が強い	発熱、全身倦怠、関節痛、筋肉痛、咽頭痛、咳、鼻汁	発症後（症状が出て）5日、かつ解熱後3日を経過するまで	要	
	百日咳	6～15日	発症後約3週間（治癒で短縮）	最初風邪のような咳、その後発作性の咳込みを反復	特有の席が消失するまで、または5日間の抗菌剤による治療終了まで	要	
	麻疹（はしか）	10～12日	症状（発熱、咳）が出現する1日前から発疹出現後4～5日	最初2～3日かぜ症状のような咳、その語さらに高熱、発疹が広がる	解熱後3日を経過するまで	要	
	流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	2～3週間	発症数日前～症状消退まで	耳下腺、顎下腺、舌下腺腫脹、発熱	耳下腺、顎下腺または舌腺の腫脹が出て5日を経過し、かつ全身状態が良好になるまで	要	
	風疹（三日はしか）	2～3週間	発疹出現数日前～後5～7日	発熱と同時に発疹、リンパ節腫脹	発疹が消失するまで	要	
	水痘（水ぼうそう）	11～20日（多くは14～16日）	水疱出現前1日～後6日	腹部、背中から全身に広がる丘疹が水疱、痂皮へと変化する	すべての発疹が痂皮化するまで	要	
	咽頭結膜熱（プール熱）（アデノウイルス感染症）	5～7日	発症数日前～後約5日	発熱、咽頭痛、眼球充血、眼脂	主要症状が消退した後2日を経過するまで	要	
	結核	1ヶ月～数年		咳、発熱、全身倦怠	感染のおそれなくなるまで	要	
	髄膜炎菌性髄膜炎	2～4日		高熱、吐き気、項部硬直（首が硬い）、精神症状	感染のおそれなくなるまで	要	
第3種	コレラ、細菌性赤痢、腸チフス、パラチフス				医師が感染のおそれがないと認めるまで	要	
	腸管性出血性大腸菌感染症	2～14日	多くは数日内	水様性下痢、血便、腹痛、発熱	主な症状が消失し医師が登園可能と認めるまで	要	
	流行性角結膜炎	1～2週間	発症後約2週間	眼球充血、眼瞼腫脹、眼脂	医師が感染のおそれがないと認めるまで	要	
	急性出血性結膜炎	1～2日	発症後約1週間	流涙、眼球充血、眼瞼腫脹	医師が感染のおそれがないと認めるまで	要	
	溶連菌感染症	2～4日	咽頭に溶連菌が存在する間	発熱、咽頭痛、莓舌、全身の発疹	抗生物質治療開始後24時間を経て全身状態がよければ登園可能 長くても初診日と翌日を出席停止にすれば良い	要	
	ウイルス性肝炎（A・B・C型）	A型2～6週 BC型1～6カ月	A型 発症後1～2カ月 BC型 不定（キャリア化あり）	発熱、全身倦怠感、悪心、嘔吐、右季肋部痛、黄疸	A型肝炎は肝機能が正常化すれば登園可能 B,C型肝炎は無症状病原体保有者（キャリア）は登園可能	要	
	感染性胃腸炎（流行性嘔吐下痢症）ノロウイルス・ロタウイルスなど	1～数日	原因ウイルス、細菌による	嘔吐、下痢、腹痛、発熱	主な症状が消失し、全身状態のよいものは登園可能	要	
	ヘルパンギーナ	2～4日	発症前日～数日が感染力が強い（ウイルス排泄は2～4週間）	発熱、咽頭痛、咽頭に水疱	主な症状が消失し、全身状態のよい者は登園可能	要	
	マイコプラズマ感染症	2～3週間	2週間前後	頑固で長期にわたる咳、発熱	症状が改善し、全身状態のよい者は登園可能	不要	
	伝染性紅斑（りんご病）	10～20日	感染後1週間～10日（紅斑出現時にはほとんど感染しない）	かぜ症状の約1週間後、両頬の紅斑。四肢、体幹も広がることあり	紅斑出現時は元気がよければ登園可能	不要	
	手足口病	3～5日	急性期（ウイルス排泄は2～4週間）	手足口に丘疹、水疱、口内疹、口内痛	食事がきて元気がよければ登園可能	不要	
	頭しらみ		成虫がいるとき	頭髮に虫卵が付着、頭のかゆみ	駆除に努めながら登園可能	不要	医師の診察を受け、1回は駆除を受けること
	水いぼ（伝染性軟属腫）	2週間～6カ月		粟粒大から小豆大の小さいいぼ	合併症がなければ登園可能	不要	化膿したりかゆみが強いときは治療を受けること
	伝染性膿痂疹（とびひ）	2～10日	水疱、びらん面がある間	皮膚に水疱ができ、破れてびらん面をつくる	感染のおそれがないと認めるまで（確実にガーゼで覆い接触感染を防ぐこと）	不要	広範囲の時は登園不可
	突発性発疹症			発熱2～4日続き、解熱後に発疹	解熱後元気であれば登園可能	不要	

## 登園届(保護者記入)

しみんふくし保育の家竹が丘 園長 殿

園児名 \_\_\_\_\_

生年月日 \_\_\_\_\_ 年 月 日生

該当疾患に  をお願いします。

第 2 種	<input type="checkbox"/>	新型コロナウイルス感染症
	<input type="checkbox"/>	インフルエンザ
	<input type="checkbox"/>	百日咳
	<input type="checkbox"/>	麻疹 (はしか)
	<input type="checkbox"/>	流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)
	<input type="checkbox"/>	風疹 (三日はしか)
	<input type="checkbox"/>	水痘 (みずぼうそう)
	<input type="checkbox"/>	咽頭結膜熱 (プール熱) (アデノウイルス感染症)
	<input type="checkbox"/>	結核
	<input type="checkbox"/>	髄膜炎菌性髄膜炎

第 3 種	<input type="checkbox"/>	腸管性出血性大腸菌感染症 (O111・026・0111 など)
	<input type="checkbox"/>	流行性角結膜炎
	<input type="checkbox"/>	急性出血性結膜炎
	<input type="checkbox"/>	溶連菌感染症
	<input type="checkbox"/>	感染性胃腸炎・流行性嘔吐下痢症 (ノロウイルス・ロタウイルス等)
	<input type="checkbox"/>	溶連菌感染症
	<input type="checkbox"/>	ヘルパンギーナ
	<input type="checkbox"/>	

(医療機関名)

( 年 月 日受診)

において、病状が回復し、集団生活に支障がない状態と判断されましたので

年 月 日より登園いたします。

記入日 年 月 日

保護者名 \_\_\_\_\_

※保護者の皆様へ※

保育園は、乳幼児が集団で長時間生活を共にする場です。集団での感染症発症や流行をできるだけ防ぐことに努め、一人ひとりの子どもが1日快適に生活できるよう、上記の感染症については、登園のめやすを参考に、かかりつけ医の診断に従い、登園届の記入及び提出をお願いします。